ひばりが丘の街に和を描く
コミュニティメディア

A'ERU アエル

MACHINI-WA HIBARIGAOKA vol. 15
2019 Autumn/Winter

去年は観客だったけど
今年はキャストになってみた

照明は青空から降り注ぐ陽射し
舞台は緑に覆われた公園

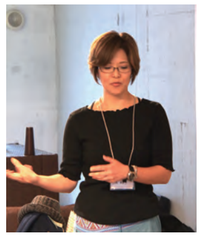
結んだガーランドが青空に文字を描く
組み立てた屋台に人が集まる
子どもとパパ、ママのキラキラした瞳

風がやさしく汗をかわかす
笑い声と美味しい匂いが風にはこばれる
たくさんのありがとう

ほんとうの舞台はもっと広い
今日も、明日も舞台は続いている

まちにわ師活動日誌＃10 「大切な時を過ごしたまちに恩返しを」 大場 由美子

小学生の頃ひばりが丘団地に住んでいました。その当時、当たり前のように眺めていた満開の桜並木はとても貴重な景観だったのだ、と大人になって他の桜の名所も観に行くようになってから気付きました。
久しぶりに西東京市に戻ってきて、あの頃走り回った団地の中にあった建物が「ひばりテラス 118」として残されている事を知り、子どもの頃お世話になったこの地域に何かご恩返しが出来ればと思い、まちにわ師になりました。現在、私はタイヨガのインストラクターとしても活動しています。心身共に健康でいる事への興味関心をより多くの方々に持って欲しく、同じまちにわ師でもある「みずたま整骨院」の水島先生と、「意外と知らないカラダの歪み あなたはどこまで気付けるか」というイベントを昨年 9 月 1 日（土）に開催しました。日頃自身がどんな姿勢で立ち・座り・歩いているかということに、皆さん熱心に関心を寄せていて、私自身も今後の仕事に向けて色々考えさせられる貴重な体験となりました。今後も試行錯誤しながらこの活動を通して、地域への恩返しをして行きたいと思っています。そして、この地域の持つ温かい雰囲気をより多くの方と共にしていきたいです。



イベントプレイバック

これまでの まちにわ ひばりが丘 主催イベント
参加者合計 のべ 9,957 名

前号でお伝えした 6 月をかわきりに、今年度は 5 回のマルシェが企画されています。8 月、10 月、12 月と回を追うごとにお客様も増えました。ご来場ありがとうございます！今年度最後のマルシェは3月3日「ひな祭りのマルシェ」です。乞うご期待！気温が 35 度を超える「酷暑」から「暖冬」へ季節が移ろいました。真夏のイベントはなんといっても「ひばりが丘団地夏祭り」。秋は最大のお祭り「にわジャム」。ひばりテラス 118 のオープン 3 周年。晴れ渡る空のもと、1,800 人の方にご来場いただき、賑やかなお祭りとなりました。皆さん、ありがとうございました。

INFORMATION
困ったときに助け合えて毎日がもっと楽しくなる街に

おしゃべりランチ会

毎月第3 水曜日

概要
毎月第 3 水曜日
12:00 ～ 13:30
＊どなたでもご参加いただけます。
＊昼食のご用意はございません。
ぜひご持参ください。

のんびり気楽に継続中

きっかけは「ひばりテラス 118 は若い人が多いから行きづらいのよね」というお声でした。であれば、まずは使ってみることからはじめてみよう！ということで、10 月から月 1 回のランチ会を第三水曜日に開催しています。メンバーは、南部地域センターで活動されている手芸クラブに所属する面々です。話題は尽きず、ひばりが丘の歴史から、子育て、手芸、そして終活の話まで。仲間を増やしていこうということで、AERU への掲載にこぎつけました。子連れもシニアもどなたでも大歓迎！ぜひお散歩がてらにお立ち寄りください。

にわマルシェ #5 ～ひな祭りマーケット～

3/3（土）

ひばりテラス 118 の周年イベント「にわジャム」から生まれ、2 ヶ月毎に行っているイベント「にわマルシェ」も今回で、5 回目を迎えます。
3 月開催のにわマルシェのテーマは、「ひなまつりマーケット」。
春の柔らかな日差しのもと、野点やお琴の演奏、ハンドメイド雑貨など、ひなまつりを華やかに彩る様々な内容でみなさんをお待ちしております。
また、テーブルや椅子など、ちょっと足を止め、寛いでいただける様な場所も用意していますので、散歩がてら、ぜひお立ち寄りください！

概要
日程 :2019 年 3 月 3 日（土）
時間：11：00 ～ 17：00
場所：ひばりテラス 118
出展内容（予定）：
1. ハンドメイド雑貨販売、ワークショップ
2. 地元産の野菜、お花の販売
3. キッチンカー
4. 野点
5. お琴の演奏
6. アウトドアグッズの開放や、休憩場所づくり
※最新の情報は、「まちにわ ひばりが丘」の HP また facebook を御覧ください。

MACHINI-WA HIBARIGAOKA
発行元：一般社団法人まちにわ ひばりが丘
編集長：岩穴口康次
制　作：渡邊篤子、若尾健太郎、永見薫、浅見美沙
（以上まちにわ師）
表　紙：浅見美沙（写真、まちにわ師）
渡邊篤子（詩、まちにわ師）
問合せ：info@machiniwa-hibari.org
ＷＥＢ：http://machiniwa-hibari.org
発行日：2019 年 2 月 5 日

メールマガジン無料配信中！
ご登録はこちらから

月 2 回「まちにわ ひばりが丘」の情報や、イベント情報などをお送りしています。左の QR コードから登録、または、件名を「メールマガジン登録希望」として info@machiniwa-hibari.org までご連絡ください。

ご予約・お問い合わせは
以下ご連絡先まで
Tel：042-452-5758
Mail：info@machiniwa-hibari.org

A'ERU PEOPLE

私達が住むこの場所を自らの手で楽しめる空間に

「にわジャム」の中で大人も子ども一緒に楽しめるプログラム「ハロウィンスタンプラリー」が分譲マンションのコミュニティ担当理事を中心にして企画され、300名以上が参加するほどの盛況ぶりで幕を閉じました。今回、プログラムの牽引役を担ったのは恵木さん、加藤さん、小林さん、飯野さんの4名。皆さんはマンションに住んで1年半くらいです。そんなみなさんに今回のイベントについてどう感じられたか、感想をお聞きしました。

この街を子ども達にも好きになってほしい

恵木さん これまでのイベントでは他のマンションの方々が中心に企画し、それをお手伝いすることが多かったのですが、今回は取りまとめを行う立場として参加となり、これまでのイベントとは違った感覚を持って臨めました。準備段階でのこちらのミスなどもありましたが、お手伝いいただいた方々が、その場その場でより良い結果に向けて考え行動した結果、多くの子ども達に喜んでもらえたことを感謝しています。私自身はイベントのお手伝いはするものの、周りを巻き込んで行動するのは正直得意ではありません。でも、こうした活動を通じて楽しいと感じるので、自然な会話の中で周りにこの楽しさを伝えていければと思っています。特に子ども達の世代がこの街を好きになってくれるようにサポートをしていきたいです。

自分たちで街を作る楽しさを実感

加藤さん 引っ越してきて約1年半、様々なイベントという形で、地域の住民との交流を数多く提供してくれる「まちにわ」には感謝しています。今回ハロウィンイベントのリーダーに任命されて感じたこと、それは「やってよかった」ということです。関係者同士の連携ミスや、事前準備の甘さを痛感する場面もありましたが、イベントを楽しむ子どもの笑顔を見るだけで苦労がすべて吹っ飛びました。とにかくイベントの中で起こった全ての出来事が「楽しかった」です。同時に、「ひばりが丘を『自分たちの手で』もっと楽しい街にしよう」というキャストがとても多いことに気づきました。とにかくみんなが楽しそうでした。そういった仲間との協力がイベントの成功に繋がったし、街を強くして行くのだと感じました。間違いなくひばりが丘はこれからもっと楽しい街になります。本当に最高です！

街のノウハウを作っていきたい

飯野さん 昨年春に引っ越してきましたが、今まではマンションや地域のイベントには全く参加していませんでした。今期初めてコミュニティ担当理事になり、「こんなイベントがあるんだ」というのが正直な感想でした。今回実施したハロウィンスタンプラリーの当日は、恥ずかしかったですがイベントが盛り上がればと思い仮装をして参加しました。無事実施までこぎつけられたことも嬉しいことです。何より子ども達や、親御さん達が楽しんで参加している様子を見られたのが嬉しかったです。今後のにわジャムの発展ももちろんですが、そのイベントの一つである「ハロウィンスタンプラリー」もノウハウとして少しづつ蓄積されてきているので、街の人みんなが楽しめる「文化」になればいいなと思います。

自分たちで街を作っていることを実感することが大切

小林さん 当日以外はほとんど関われなかったのですが、今回のイベントを通じて今までは「まちにわ」が主体となって企画・運営していたイベントを、今後住民主体でイベントを企画・運営して行くイメージを持つことができました。今後もコミュニティ担当理事が主体でイベントを企画・運営して行く場合、理事も交代していくので、その時のために引き継ぎをしっかりして、自分たちで街を作っている実感を持てる人が増えるようにしていきたいなと思っています。

初めは興味がなかったとしても、少しづつ何かのきっかけを通じて「住んでいる街での出来事が自分ごとになる」この変化を4名は体現されているようにも見えます。いつ誰にでも起こりえるこの素敵な体験。ほんの少しの興味や好奇心、勇気があなたのひばりが丘ライフをより豊かに色鮮やかに変えてくれるかもしれない「住民参加型イベント」。次はあなた自身が関わってみることに一歩踏み出してみませんか。

A'ERU ライター

永見 薫 *Nagami Kaoru*

西東京市谷戸町在住。
会社員として働きながら、ライフワークとしてインタビューライターやワークショップやイベント運営に携わっています。2018 年、育児休暇期間を利用して念願のまちにわ師 5 期生になりました。住んでいる街をもっと楽しく面白く感じられるように、子供との暮らしをもっと密接に感じながら「職住接近」をテーマにこれからも活動を続けていこうと思っています。

2018 年 10 月 27 日、28 日の 2 日間にわたり「にわジャム 2018」が開催されました。
ひばりテラス 118 のオープン 3 周年記念のイベントです。来場者は 1,800 人。
今年は「住民の皆さんと作り上げる」という姿に一歩近づいたイベントとなりました。
関わった皆さん、遊びに来てくれた皆さん、ありがとうございました。
皆さんのコメントを中心にレポートします。

日が落ちてから、草の広場では映画を上映。「0 円キッチン」というドキュメンタリー映画でした。
コンマコーヒーでは「柳沢楽太郎一座」のライブがありました。「駄菓子屋ブギ」ではお客さんもノリノリ！！
昼間の会場では「ンスティングダンストン」のライブもありました。音楽があると盛り上がりますね。

朝の設営など人数が足りていたか分かりませんが、出来ることがあったらお手伝いしたかったです。
あの広さのイベントだからこそ、全体も眺められ、お隣さんとも話しやすかった。自分自身ももっとお客様に喜んでもらえる物を用意したいと思いました。設営しか参加できませんがでしたが、楽しくイベントに参加できました。

小物が可愛くてついついたくさん買ってしまいました。
2 日間とても楽しく出店させてもらい、感謝しています。
ソネングラスの明かりがとてもきれいで感動しました。

この日だけの「にわジャム」だから出会える人がいる。そして、このつながりが日常へ。老若男女ワイワイと集える、交わる「にわジャム」素敵です！とても楽しかったのでここの恒例行事になりそうです。みんなが「楽しい」と言っていて、私も楽しくなりました。

ワークショップがきちんと選ばれた感があった。
素晴らしいクラフト作品の展示会、それをつくってみることができて良かったです。

お子様方のハロウィンの仮装が素晴らしかった。子どもたちがたくさん来てとても可愛かったです。当日は大変楽しませていただきました。小さいお子様や親御様と触れ合うことが出来、若い方々の中でお手伝いできるということを、とてもありがたく感じました。

ペットと共に遊びに来た人。「かわいい！」と子どもたちが寄ってきます。券玉の腕前を披露する人、カッコよく決まりました。
フードの出店者もこんなコスプレ！
思い思いの「にわジャム」です。

子どもが一日中遊べるってありがたい！小さな子から、少し大きな子まで公園のあちこちで遊んでいました。射的ゲームが楽しかったです。普段は忙しいお母さんともたくさん遊べてよかったね！

「畳ベンチはとてもイイ！」毎回、イベントで大活躍しています。ワークショップをしたり、お休み処になったり。変幻自在です！みんなで運んで来るのが一苦労！力自慢の方は、是非、助っ人に来てください！